2．概算要求に関する主要施策・事業

＜安全で安心できる地域づくり＞

重点事項：あらゆる災害に強い安全な地域づくり

主な目標

①河川氾濫や高潮、土砂災害、火山活動などの災害を防ぐため、堤防やダムの整備等を進めます。
②大規模地震や津波に備え、土木施設及び建築物の耐震化や防波堤の整備等を図るとともに、緊急物資の輸送を可能とする安全で信頼性の高い道路網の形成、耐震強化岸壁を備えた港湾の整備等を図ります。
③災害時に迅速な対応を行えるよう、ＩＴを活用した情報基盤の整備を進めるとともに、地域や関係機関と情報共有を図るなど、危機管理体制の充実を図ります。

目標達成のためのH18年度の具体的な施策の例

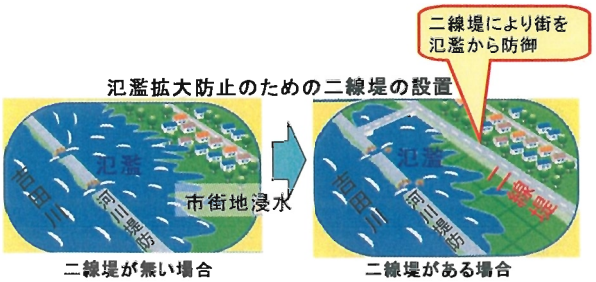
頻発する洪水・土砂災害等への対応

・頻発する集中豪雨による河川氾濫を防ぐため、事業の早期完成・効果発現が可能な河川改修・ダム等について重点的に整備を進めます。

（具体箇所例）
直轄： 鳴瀬川水系下志田（しもしだ）地区（二線堤）直轄河川改修事業　　（別冊P．9）

●二線堤の整備効果





二線堤の整備により、100年に1回規模の洪水から町を守ります
鹿島台地区の整備効果
浸水家屋　858戸　➡　0戸
浸水面積　231ha　➡　0ha

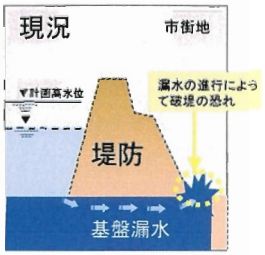
（具体箇所例）

直轄：堤防質的整備（子吉川本荘地区）　（別冊P. 12）

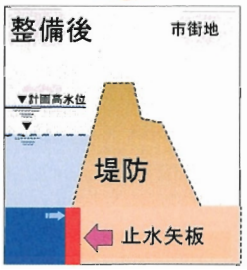
●本荘地区堤防の質的整備



▲堤防の質的整備によって、市街地を氾濫から守ります



◀漏水により堤防が決壊する可能性があります



◀止水矢板により堤体基盤となる地盤への浸透を抑制します

（具体箇所例）

直轄：　長井ダム建設事業　（別冊P. 10）

　　森吉山ダム建設事業　（別冊P. 11）

●森吉山ダム建設事業



◀昭和47年7月洪水による旧鷹巣町の床上浸水被害



▲森吉山ダム完成イメージ図

・堤防整備十ヶ年計画に基づく事業の重点化（新規）

昨年度の水害の頻発を受け、今後の河川整備にあたっては、地域社会に大きな影響を及ぼす地区を重点的に整備することが重要です。このため、新たに堤防整備十ヶ年計画を策定し、堤防の量的整備・質的整備を一体的に行っていくなど、本計画に基づいた堤防整備に着手します。

・津波対策五ヶ年計画（河川）に基づく事業の戦略的実施（新規）

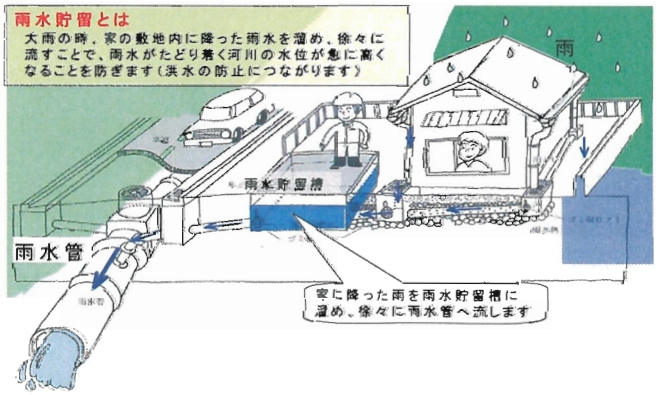
太平洋側に河口を持つ直轄河川において、今年度中に津波対策五ヶ年計画を策定し、本計画に基づき高潮堤防の整備や河川管理施設の機能確保等に着手します。

・住民と連携し、雨水貯留浸透施設の設置を促進し、雨水の流出抑制を行います。

（具体箇所例）

補助：　塩竈（しおがま）市都市水環境整備事業（宮城県塩竈市）　（別冊P. 35）

●雨水貯留浸透施設（イメージ図）



◀住民の協力を得ながら、一時的に雨水を貯める施設を私有地内に整備し、大雨の時、市街地が水に浸かるのを防ぎます。

・土石流や地すべり等の土砂災害から、人命や財産、重要交通網等ライフラインを保全するための施設整備を進めます。

（具体箇所例）

直轄：最上川水系直轄砂防事業　朴木沢（ほうきさわ）第二砂防えん堤　（別冊P. 14）

八幡平山系直轄砂防事業　澄川（すみかわ）第二砂防えん堤　（別冊P. 16）

補助：矢崎（やざき）の沢（さわ）通常砂防事業　（別冊P. 20）

●砂防えん堤により集落・ライフラインを守ります（朴木沢第二砂防えん堤）



▲砂防えん堤により、鮭川流域の集落及び一般国道13号・JR奥羽本線を保全します

・平成8年度に実施した「豪雨・豪雪等に対する道路防災総点検」の結果に基づき、対策が必要な諸施設のうち、落石防護・法面保護などの道路防災対策を推進します。

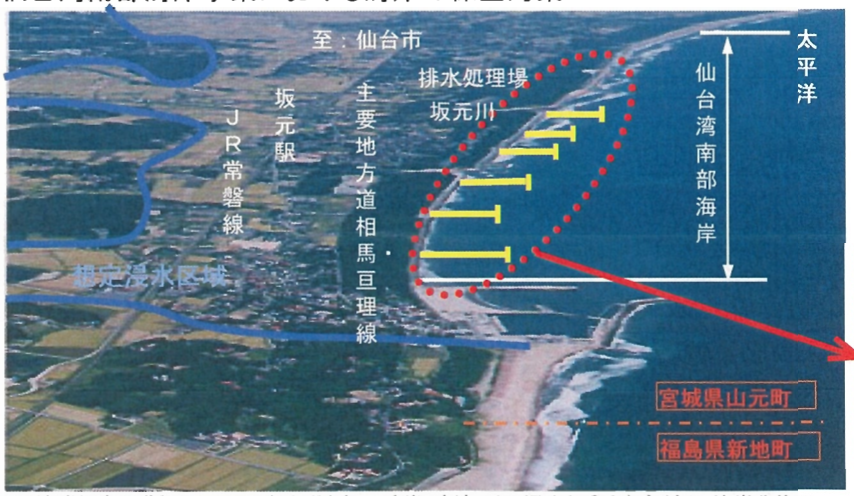
・護岸・人工浜・離岸堤等を整備し、侵食が進行している海岸の汀線の防護と高潮・高波による浸水防止、海岸利用の向上を目指します。

（具体箇所例）

直轄：仙台湾南部海岸　海岸保全施設整備事業

補助：向（むかい）平（たいら）海岸局部海岸事業　（別冊P. 28）

●仙台湾南部海岸事業における海岸の保全対策



▲海岸侵食の進行によって、砂浜が消失し、高潮・高波による浸水を受けやすくなり、海岸背後の一般家屋や主要地方道、鉄道が浸水被害を被る恐れがあります。



▲急激に進む海岸侵食によって海岸保全施設が被災（H3）



▲整備により失われた砂浜が復元され海岸を保全

・地域防災情報ネット（河川）の構築（新規）

地域防災力の向上に取り組む市町村の支援を目的として、画像情報等の分かりやすい防災情報を収集・伝達するための情報機器を緊急的に整備するとともに、光ファイバ網を市町村と接続し、双方向で確実に防災情報を伝達・収集する体制を構築します。